≪学習問題≫

わなげゲームのけっかは，右のようになりました。

１グループのとく点と２グループのとく点を

くらべてみましょう。

また，１グループと３グループではどうでしょう。

**１グループ**

**３４８**

**2グループ**

**２８９**

**3グループ**

**３６２**

①本時を構想する上でポイントとなる素地

○問題解決のための知識・技能

・十の位の数の大小を比較し，次に一の位の数の大小を比較すれば，100までの数の大小を比較することができる。

○既習とつなぐ見方・考え方

・一番大きな位の数から順に大小比較をすることによって，数の大小を比較することができる。

○共同追究でのゆさぶり

・289＜362＞348と表してよいのか提案し，検討する場を設ける。

○ゆさぶりに対応する経験

・100までの２つ数の大小関係を，大きい位の数から順に比べて考えることができる。

教材研究ノート№2-A-7

≪定着・活用問題≫

授業計画･実施記録

主眼

≪学習問題≫

クリア課題

②見通し:100の位の数から順に数の大きさを比べることによって，順位をはっきりさせることができそうだ。

１　課題とまとめを一体のものとしてとらえるには

②学習課題:３つのグループのとく点を，くらいの数字をもとに　くらべて，じゅんいをはっきりさせよう。

③個人追究:どの位の数を見れば，数の大小を比較することができるのか，位の数をそろえるなど，はっきり分かるように示し，説明できるようにする。

④共同追究前半（解法の比較検討）

「数を縦にそろえたり，100，10，1のまとまりごとにばらしたりして比べる方法の似ているところはどこか」

→「どの方法も，大きい位の数から順に比べている」

④共同追究後半（思考を深める）

「こんなふうに式に書いてもいいんじゃないかな？」と問いかけ，「289＜362＞348」を板書する。

→「289と348のどちらが大きいのか分からないよ」

「順番になっていないから，順位が分からないよ」

⑤まとめ（児童生徒の言葉で）

・百の位，十の位，一の位の順に位の数の大きさを比べることで，1000までの数の大きさを比べることができる。

・＜，＞の記号を使うことで，数の大きい，小さいという関係を式に表すことができる。

⑥定着･活用問題

つぎの　４つの数を　くらべて，＞　か　＜を　つかって，しきに　かきましょう。

657　576　853　809

＜本時の展開に当たっての留意点＞

・不等号の意味と，式に表すことができるという簡潔性のよさをとらえることができるように，不等式に表したり，不等式を読んだりする算数的活動を位置付ける。

・３つの数の大小比較をすることによって，小から大へ（あるいは大から小へ）一貫した大小関係に基づいて不等式を立てないと，３つの数の大小関係を明確に示せないことを意味づける過程を大事に位置付ける。

【板書計画】